

スマイル通信

平成30年 10月 9日発行 第37号

そろそろ紅葉の便りが聞かれるころとなりました。秋の深まる様子がとても楽しみですね。

読書の秋にスポーツの秋、食欲の秋とありますが、我々職員が先月号から今月までの間に紹介しきれなかった分の、夏の行事やレクリエーションを先に紹介させていただきます。

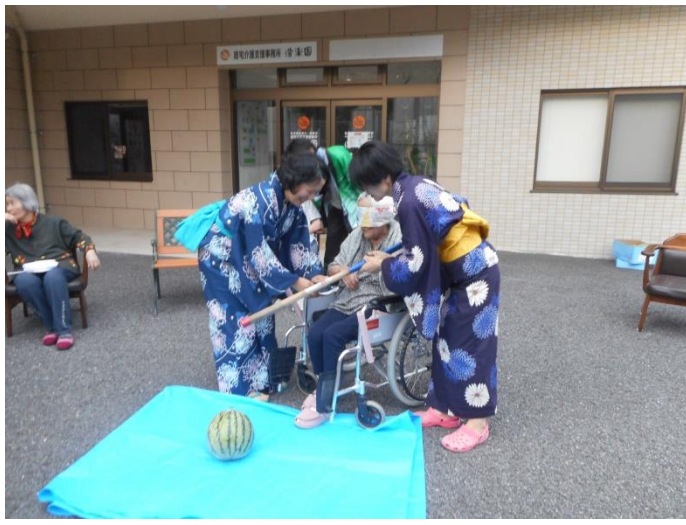
入居様が充実した日々を過ごされている様子を、文と写真で今一度確認していただけたらなと思いました。

夏祭り



今年も恒例の夏祭りを行いました。出店の食べ物やかき氷などやスパーポウルすくいなどお祭りの雰囲気懐かしさを感じてもらえました。盆おどりの後はグループホームでスイカ割と花火を楽しんでもらい、線香花火は各々職員と一緒にを行いました。

お祭りが終わった後は夏の終わりを感少し寂しくも感じましたがまた、夏が来ると思えば来年が楽しみです！



別府～湯の町～よさこら、サイサイ♪

綺麗な花火ー！！

綺麗なお祭りー！！

思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

花火観賞



ご家族の参加もあり、親子で観賞される方や、仲睦まじく夫婦で観賞された方、缶ビール片手に楽しまれた方など、それぞれにとって素敵な花火観賞となりました。

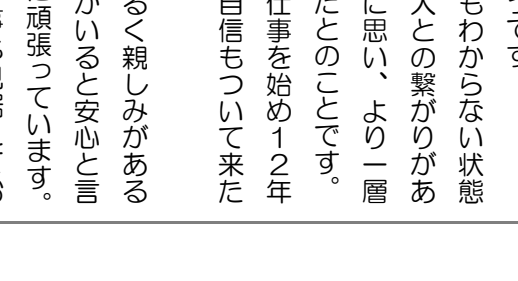
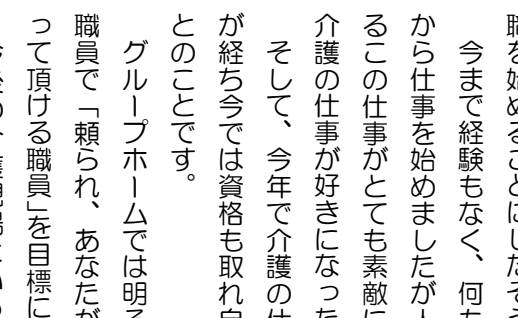
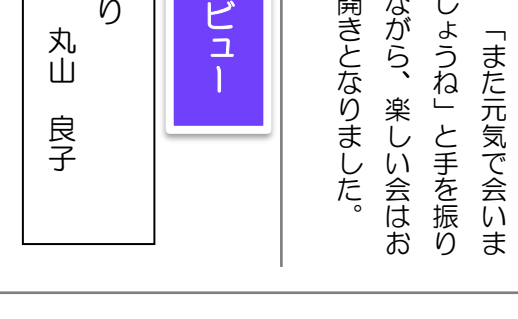
特別最後の迫力ある打ち上げ花火には全員で歓声を上げて「また、来年もみんなで見ようね」と約束し、よき夏の思い出となりました。

別府の花火は悪天候にて延期となりましてが無事に決行されました。毎年施設の屋上にみんなで集まり観賞しているときのお写真です。

「また元気で会いましょうね」と手を振りながら、楽しい会はお開きとなりました。

今年より新しく試みた会でしたが大盛況となりました。個々の職員による出し物を始め、皆で歌や体操などのレクリエーションを通して大いに楽しまれておりました。ボランティアの子ども達からメッセージカードが贈呈されると、感動のあまり大粒の涙を流される方がちらほら見受けられました。

外出レク



思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

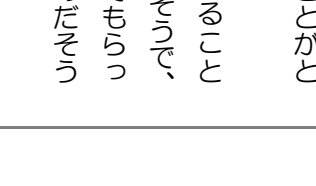
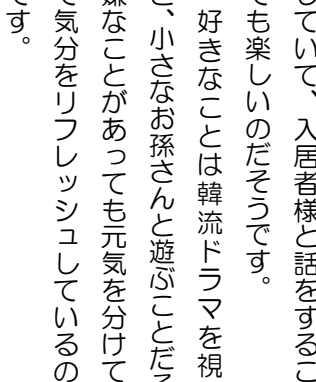
思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

思い出のハイッ、チーズ！

敬老会



今年より新しく試みた会でしたが大盛況となりました。個々の職員による出し物を始め、皆で歌や体操などのレクリエーションを通して大いに楽しまれておりました。ボランティアの子ども達からメッセージカードが贈呈されると、感動のあまり大粒の涙を流される方がちらほら見受けられました。

「また元気で会いましょうね」と手を振りながら、楽しい会はお開きとなりました。

グループホーム職員インタビュー



さくじ通りの介護職員 丸山 良子

今回の山本職員にお話しを聞かせて頂きました。元々は事務仕事を長年やっておりましたが自分の母親の介護きっかけに介護職を始めることにしたそうです。今まで経験もなく、何もわからない状態から仕事を始めましたが人との繋がりがあつたのがとても素敵に思い、より一層介護の仕事が好きになったとのこと。そして、今年で介護の仕事を始め12年が経ち今では資格も取れ自信もついて来たとのこと。

今回の山本職員にお話しを聞かせて頂きました。元々は事務仕事を長年やっておりましたが自分の母親の介護きっかけに介護職を始めることにしたそうです。今まで経験もなく、何もわからない状態から仕事を始めましたが人との繋がりがあつたのがとても素敵に思い、より一層介護の仕事が好きになったとのこと。そして、今年で介護の仕事を始め12年が経ち今では資格も取れ自信もついて来たとのこと。

今回の山本職員にお話しを聞かせて頂きました。元々は事務仕事を長年やっておりましたが自分の母親の介護きっかけに介護職を始めることにしたそうです。今まで経験もなく、何もわからない状態から仕事を始めましたが人との繋がりがあつたのがとても素敵に思い、より一層介護の仕事が好きになったとのこと。そして、今年で介護の仕事を始め12年が経ち今では資格も取れ自信もついて来たとのこと。

最後に「これからも入居者の皆さんが楽しく、そして穏やかに過ごして頂けるように努力していきたいと思っております。どうか皆様よろしくお願ひします。」と一言いただきました。丸山職員でした。

さくじ通りの介護職員 山本ツヨミ

今回の山本職員にお話しを聞かせて頂きました。元々は事務仕事を長年やっておりましたが自分の母親の介護きっかけに介護職を始めることにしたそうです。今まで経験もなく、何もわからない状態から仕事を始めましたが人との繋がりがあつたのがとても素敵に思い、より一層介護の仕事が好きになったとのこと。そして、今年で介護の仕事を始め12年が経ち今では資格も取れ自信もついて来たとのこと。

運営推進会議

9月22日(土)14時から、今年度第3回目のグループホーム偕楽園運営推進会議が行われ、施設の現状等について報告をさせていただきました。ご家族の方や市役所、地域包括支援センターの方、民生委員をされていた方からご意見やアドバイスをたくさんいただき、より安全で安心できる施設を目指して、いこうと気持ちが引き締まりました。次回は、11月24日に特別養護老人ホームと合同で開催します。12月のスマイル通信でお伝えいたします。

オレンジカフェ



9月15日(土)13時半から職員と入居者様で参加しました。一般の方で、姉妹で参加されている妹さんとお話しをさせていただきました。お姉さんと二人暮らしで、毎日犬の散歩に行っているそうです。利用者様も「かわいいでしょ」「散歩ができていいね」とこやかに地域の方と話ができて良い刺激になったようです。



行事食について



9月17日の敬老会
お食事は、ちらし寿司・稲荷寿司・天ぷら・茶碗蒸し・ひじき・お吸い物を提供しました弁当に入っていたのですが、ほとんどの方が残さず召し上がりました。たくさん食べて元気に長生きしてくださいね！

10・11月の行事食の予定

10月は運動会の昼食にお弁当をご提供します。
11月10日にもみじ祭りを予定しておりますので、屋台での食べ物をご提供いたします。ごはんものやスイーツ、お飲物を食券で購入できるようにいたしますのでお楽しみに♪

研修報告(安森)

9月1日の13時半より、大分県庁で若年性認知症の家族のサポートについての研修会が開かれました。由布市にある高齢者施設の施設長の方と、「ねりまの会マリネ」(関東を中心とした活動)の方のお話を聴かせていただきました。若年性認知症を持つ方の介護を担うのは、配偶者である場合が多いのですが、今回は65歳未満の親が認知症になった子どもの立場からの話でした。自分のご両親や、自身が介護をして感じたことを涙ながらに話してくださいました。

研修報告(野町 浩平)

7月から9月にかけて、大分県社会福祉介護研修センターで行われた認知症介護実践者研修に参加しました。計7日間の研修で各分野専門の講師の方々が、認知症について講義してくださいました。ここで学べたことを簡単ですが、報告させていただきます。認知症を発症することによって、様々な変化が見られるようになってきます。変化に対して、どうすれば良いのかが明確にならず、戸惑うことは認知症に関わる多くの人が経験されていると思います。しかし、戸惑い、混乱しているのは認知症の方も同じです。例えば、目的を示さず歩き続ける行動に対して「じっとしていられない人」「認知症が進んだ」と表現してしまった場合、認知症の方はどうなってしまうのでしょうか……。

さいました。受け入れられないことがあったり、自分の時間を介護にかけたいのですが、どなたも「家族に笑ってすごしてもらえたら」という一心で、自信を持っている表情でした。貴重な体験を知る事ができて、ヤングケアラー(14歳以下から20歳代の若い世代が介護する)が少なくないのだということや、ダブルケア(育児と介護を同時にする)で悩むひと達のサポートも福祉のサポートを必要としていると感じました。

認知症によって、言葉などの一般的な方法で想いを伝えることが難しくなる方もいますが、表現方法が変化しただけで、その人の想いは何かしらの形で表現されています。「お腹が空いたから何か食べよう」→「冷蔵庫に食べるものがあつたはず」→「冷蔵庫はどこだろう探しに行こう」→その結果、歩き続けるという表現をされる場合もあります。認知症の方の行動を「問題行動」という目で見ず、その人の表現に潜む想いを汲み取る関わりが大切です。まずは「どうしましたか?」と聞くことから始めることが、認知症の方を理解する一歩となります。この寄り添う姿勢を土台に、社会資源の提案、医療機関との連携などが活きてきます。「この人はどうしたいのだろう」と常に考え、関わる事が大切だと学びました。この学びを活かし、皆さんの笑顔がもっと増えるように頑張っていきます。

行事予定

- 毎月第2火曜日 第4火曜日に音楽会
 - 毎月第3土曜日 オレンジカフェ
 - 毎月下旬水曜日 理美容サービス
 - 10月 ドライブレク(大分市内)
 - 10月17日 運動会
 - 11月10日 もみじ祭り
 - 11月 外食レク
- *入居者様のお誕生日のお祝いは、可能な限り当日の午後を予定しています。



グループホーム連絡協議会

9月10日に別府市公会堂にて、認知症フォーラムが開催されました。福々亭ナミ子さんを講師にお迎えし、笑い声の絶えない勉強会となりました。今までにないほどの一般の方々のご参加に講師の方も別府市社会福祉協議会のスタッフも驚きながらも嬉しい気持ちでした。健康に長生きするためには、①新しいことにチャレンジする・好奇心を持つこと、②人と会って話すこと、③おおいに笑うことが大事です。右手と左手で別の動きをする体操や、「明日があるさ」の曲の「あ」の部分で手を叩くといった脳を活性化させる体操なども取り入れて、偕楽園のレクリエーションにも活かしたいと思えます。



社会福祉法人 亀鶴会 偕楽園

特別養護老人ホーム偕楽園 TEL:22-2515 FAX:22-2516	老人短期入所施設偕楽園 TEL:22-2515 FAX:22-2516	居宅介護支援事業所偕楽園 TEL:85-8561 FAX:22-5554
グループホーム偕楽園 TEL:22-5553 FAX:22-5554	ヘルパーステーション偕楽園 TEL:75-8816 FAX:22-5554	

ですが下記までご連絡下さい。
〒874-0904 別府市南荘園町25組
☎:22-5553 FAX:22-5554 担当:栗田 平野まで



掲示板

◎9月に協力医療機関にて、定期健康診査を受けていただきました。
◎今後は寒い気候になっていき、11月以降はインフルエンザや食中毒のリスクが高くなる時期です。入居者様の予防接種のお声掛けをさせていただきます。11月1日から職員はマスク着用でさらに予防に努めていきます。ご家族の皆様にも、ご面会時は手洗い・うがいやマスク着用のご協力をいただけますようお願いいたします。
◎もみじ祭りが11月10日開催に決定しました。沢山のご参加お待ちしております。